

「子宮頸がんワクチンについて」

文＝ 猪苜 真唯（保健師）

子宮頸がんワクチンとは？

子宮頸がんは、高リスク型（発がん性）のヒトパピローマウイルス（HPV）に持続感染することで起こります。HPVの子宮頸部への感染のほとんどは性的接触によるもので、性交経験のある女性であれば誰でも感染の可能性があります。日本では年間約11,000人が子宮頸がんにかかり、約2,900人が子宮頸がんによって亡くなっています。20代から子宮頸がんにかかる方が増え、30代までにがんの治療により子宮を失ってしまう方が年間1,000人います。

子宮頸がんワクチンは、子宮頸がんを起こしやすいタイプであるHPV16型と18型の感染を予防し、子宮頸がんの原因の50～70%を防ぐといわれています。



子宮頸がんワクチンの個別接種勧奨を再開

子宮頸がんワクチンは、平成25年4月より定期予防接種として開始されましたが、同年6月にワクチンとの因果関係が否定できない持続的な痛みの発生頻度が明らかになり、これまで対象者への積極的な勧奨は控えていました。その後も議論がなされ、子宮頸がんワクチンの安全性や、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められ、令和4年4月から対象者への積極的勧奨を再開することとなりました。

積極的勧奨の差し控えにより、子宮頸がんワクチンを定期接種期間内に受けられなかった方へ

ワクチンの公平な接種機会を確保するために、令和4年4月～令和7年3月までの期間、無料で子宮頸がんワクチンを接種することが出来ます。また、定期接種対象期間外に自費で接種した方については、費用を全額助成します。対象者については下記のとおりです。

★ 対象者

- ・ 定期接種：小学6年生～高校1年生の女子
- ・ キャッチアップ接種：平成9年4月2日～平成18年4月1日に生まれた女性で、過去に子宮頸がんワクチンを合計3回受けていない方
- ・ 費用助成対象者：令和4年4月1日時点で羽幌町に住所がある平成9年4月2日～平成17年4月1日生まれの女性で、子宮頸がんワクチンを自費で接種した方

★ 接種場所・時間 北海道立羽幌病院 婦人科外来（毎週火曜日）

★ 接種の申込 すこやか健康センター ☎ 62-6020
費用助成の申込についてもご連絡ください